

— 斜面崩壊を防ぐために！ —

ほ場からの土砂流出や農地法面の崩壊は地域環境に悪影響を及ぼすばかりでなく、生産性の低下にもつながります。

○日常の営農

・心土破碎

耕盤層を破碎して排水性を改善することにより土壌の流亡を減少させることができます。



(心土破碎)

・溝切り

表面水を集めたり分散させることにより土壌の流亡を減少させることができます。



(溝切り)

○ほ場の整備

・暗渠排水

ほ場の排水性を暗渠排水により改善することで土壌の流亡を減少させることができます。



(暗渠排水)

・客土

粘性土のほ場では客土を行うことにより保水性を増加させ土壌の流亡を減少させることができます。



(客土)

・区画整理 (勾配修正)

ほ場の勾配を改良することにより流亡を減少させることができます。



(区画整理 (勾配修正))

○緩衝林帯の造成

河岸段丘斜面に接する農地周辺に木を植えることにより、斜面の崩壊を防ぐ効果があります。

・緩衝林帯を造成する上での留意点

- 1) できるだけゆとりをもたせた林帯幅を設ける。
- 2) できるだけ地元産の種子から育てた苗木を使う。
- 3) バラ科の樹木は農作物に対する病気をまん延させる可能性があるため、これを避ける。
- 4) 苗木の生長が休止している春の芽吹き前に植えることが望ましいが、それが難しい場合には秋植えもできる。
- 5) 土壌が締め固まっている場合に植える場合は、土壌の耕起などを行い苗木の根付きを促す。



●農地整備に関する問い合わせ先

・北海道網走支庁農業振興部調整課、整備課
各地区農業改良普及センター

TEL 0152-44-7171

お近くの普及センターへお問い合わせください。

●森づくりに関する問い合わせ先

・北海道網走支庁経済部林務課
網走東部森づくりセンター
網走西部森づくりセンター

TEL 0152-44-7171

TEL 0157-24-6276

TEL 01588-2-2158

農地と身近な林を守るために

— 河岸段丘斜面林の保全 —

河岸段丘斜面林保全対策促進協議会

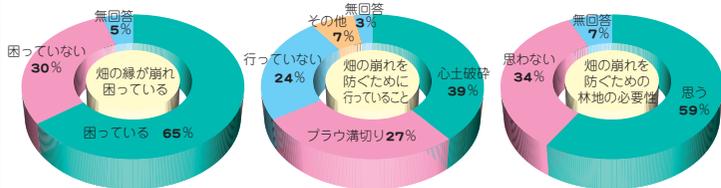
常呂川・網走川流域には広大な農地やみどり豊かな森林が広がっていますが、近年、台風や大雨・融雪時に農地の冠水や土壌流出などの農地被害、斜面崩壊による河川等への土砂流出など、様々な被害が発生しています。このような被害から大切な資源を守るために、森林は大きな役割を果たすことができます。

あなたの周りでも起きていませんか！



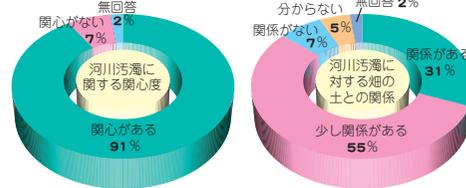
● 農業者の方に行ったアンケート結果から見た意識では？ ●

－畑の崩壊防止の取り組みと林地の必要性－



アンケート結果から～ 多くの農業者の方が畑の崩れを防ぐために心土破碎やプラウ溝切りなどを行っています。また、畑の崩れを防ぐために59%の農業者の方が林地が必要と考えています。

－河川環境への意識－



アンケート結果から～ 河川汚濁については、91%の人が関心を持っており、86%の人が畑の土が関係していると考えています。

－なぜ崩壊・侵食が起きるのか！－

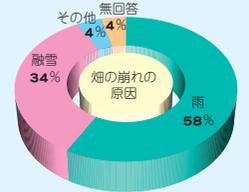
○斜面において侵食を起こす要因として考えられること

・地表面が固い斜面では、雨や融雪水が地中にしみこむ量が減少するために、地表面や浅い土壌内を水が流れることがあります。この流れが集中すると、地表面に溝状の侵食が生じたり、土壌中にパイプ状の侵食ができることがあります。



○斜面において崩壊を起こす要因として考えられること

・一般に、豪雨や地震をきっかけとして地すべりや表層土壌が崩れ落ちることがあります。また、斜面上部から水が集中して流れ込むと、斜面が溝状に掘られ、これが拡大していく過程で大きな崩壊に繋がることがあります。



－緩衝林帯を作ること－

河岸段丘面や丘陵平坦地に農地がある場合、河川などの水際のみならず段丘肩に木を植えることで緩衝帯を確保して、濁水の流入や崩壊を防止することができます。



－対処の考え方－

